

若葉に生命の息吹を感じる五月をいかに過ごすか

夢や希望の種を!

校長 堀 行伸

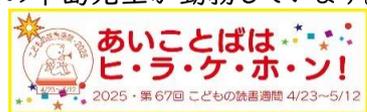
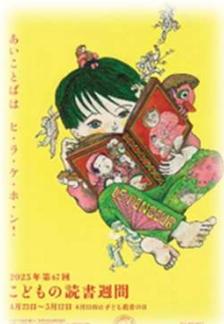
私の中学校時代の夢は、プロ野球選手になることでした。そして高校時代は、「料理人」「酪農家」「教員」と3つになりました。夢や目標は、その時々に変化し、最終的に教員を目指すことになりました。今振り返ってみると、夢や希望、目標が明確になることにより、その達成に向けての取組が加速し、前向きでやる気に満ちた日々を過ごせた記憶があります。

さて、中学校では3年間かけて進路学習を行い、将来の進路について考え、最終的には生徒自身が卒業後の進路先を決定していけるよう指導・支援していきます。その際、何となく進学するというよりは、将来の夢や目標のために確かな意志を持って進学するようになってほしいと願っています。それは、具体的な職種でなくても、理想の社会人や大人でもよいと思います。学校でも教育活動全体で様々なアプローチをしていきます。ご家庭や地域でも、身近な大人として、様々な視点から夢や希望を考えるきっかけとなるお話や、職業観や勤労観などについても話題にさせていただくと、子供たちが進路を考える上で大きな財産となります。ご協力をお願いします。



4月23日～5月12日は、「こども読書週間」

読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにします。本を読むことの良さは、他にもたくさんあります。是非、ゴールデンウィーク、スマートフォンから少し手を放し、本を手にする機会を増やしてみたいはいかがでしょう。そこには、ワクワク、ドキドキな世界が広がっていると思います。それだけではありません。読書は、我々に読解力を身に付けてくれます。読解力が身に付くと、国語以外の教科の学力向上も期待できます。各教科の学習の多くは、文章表現で説明されています。定期テストも同じです。問題内容をよく理解できなければ、正確な解答はできません。問題を解く上で、文を読み内容を理解することを第一歩と考えれば、読書はその基本となります。本が好きな生徒、本をたくさん読む生徒は語彙も豊富で、文章を読む力も高い傾向にあります。子供たちには、できるだけたくさんの本を読んで欲しいと思っています。月曜日以外は読書活動推進補助教員の中島先生が勤務しています。お勧めの本やお探しの本を訪ねてみるのもよいでしょう。



学力は日々の学習の積み重ね

少し早いようですが、6月5・6日に第1回定期テストがあります。4月からの5月末までの学習内容がどれだけ身に付いたかの確認テストです。学校も生徒の学力が向上するよう努力して参ります。ただし学習内容は5教科2か月分です。授業の時には理解できた内容も、日が経つと忘れてしまうものもあります。そこで大切なのが、繰り返し学習することです。二日間覚えていた内容は、長い間、脳に記憶されるそうです。そこで、授業はもちろんですが、家庭学習にも力を入れてほしいのです。では、どれ位の時間を確保すればよいのでしょうか?一説には学年×10～15分が適当と言われています。これを当てはめると(中学1年は7年と考えます)、中学校1年生では70～105分、2年生では80～120分、3年生では90～135分になります。大人でも2時間集中して勉強するのは大変ですし、集中できる時間には個人差もあります。大切なことは各自にあった時間で毎日継続することです(「継続は力なり」)



4月の学校の様子

